

安心安全情報

防災マップで地域の災害 リスクを確認しよう！

災害の被害を軽減するには、「自助・共助・公助」の組み合わせが重要です。その中でも災害対策は基本の「自助」。「自分の命は自分で守る」という備えが必要であり、自分が無事でなければ共助にもつながりません。自助で考えられることは、住宅の耐震補強や家具の固定、家庭内の備蓄、非常持ち出し品の準備、家族の連絡方法の確認などです。そして、自助の中でも重要となるのが自分の住む地域の災害リスクの確認です。今月の広報紙と一緒に、最新の総合防災マップ(ハザードマップ)を全戸に配布しました。地域の災害リスクや避難所、避難経路などを確認して家族や地域で共有しましょう。

●問・危機管理課 TEL 23 - 1175

みんなで学ぶ 子育て広場

小学生以下に新しい 「子ども医療費受給資格証」 を発送します

平成 31 年 1 月から中学校卒業までの医療費助成を始めました。また、今回の改元に伴い、小学生以下を対象に医療費受給資格証の改正を行います。現在利用している資格証の有効期間は、小学校卒業までです。新しい資格証を 6 月に郵送しますので、手元に資格証が届いたら、現在使用している資格証と差し替えてください（その際、古い資格証は破棄して構いません）。なお、中学生の資格証は、そのまま中学校卒業まで利用できます。新元号表記の資格証発行を希望する場合は、子育て支援課で対応しますのでお越しください。

●問・子育て支援課 TEL 23 - 1278

ALT の『英語コラム』

桜祭り ～サガール先生～

こんにちは！外国語指導助手（ALT）のサガール・シラジュルです。小林に来て 2 年目になります。今年の春、細野の桜まつりへ行ってきました。

桜の美しさに大変驚きました。1000 本の桜並木が通り沿いに咲いており、まるで桜のトンネルのようでした。夜には、花火が上がり桜を照らしているようでした。



『メロンばなし』

チューチュー Tchou-tchou!



フランスでは ^{エスエヌセエフ} SNCF という国有鉄道が一般的です。フランス人は移動するときに電車を好む人が多いのに、評判がとても悪いです。主に、電車が常に遅延しているということに特にいらだつ人が少なくないです。そもそも、フランスと日本の「遅れ」の定義が違います。日本の新幹線だったら、1 秒以上の遅刻はすでに遅れですが、フランスでは 5 分以内だったら遅れではないということです。SNCF によると、月に遅刻した TGV（新幹線）は約 17 回ですが、日本では 0.3 回です。つまり、フランスの電車に乗れば、特に乗り換えがある場合は、30 分ぐらいの遅れを見込むのがいいと思います。